

4月5日 千原自治会 緑化活動で表彰



生活にさらなる安らぎと潤いをもたらす、豊かな地域づくり
に寄与することを趣旨とした「第7回中部広域花と緑のまちづくり
コンクール」において、千原自治会(比嘉利和会長)の美化・緑化活動が認められ、優秀賞として表彰されました。

千原自治会は、自治会館前の駐車場の空間を利用し、植付や水やり、雑草を腐葉土にして利用するなど日々取り組んでいます。花いっぱい
の西原町になったらいいですね。



4月5日 子どもの交通事故を0に!



西原町交通安全推進協議会(上間明会長)と浦添地区交通安全協会(喜納政慎副会長)から、町内4小学校の新1年生に蛍光色のランドセルカバーと交通安全反射材付巾着の寄贈がありました。大濱進教育長は「このランドセルカバーを道で見かけることで、ドライバーの皆さんがより子どもたちの安全を意識してほしい」と話しました。

また、登校時の児童の交通安全を守ることを目的とした朝のあいさつ運動が、坂田小学校前の交差点で行われ、町長や教育委員、浦添警察署長、交通安全指導員が、黄色の旗をもち信号を渡る児童へ声かけを行いました。



春の全国交通安全スローガン 登下校 いつもの道こそ 要注意

3月23日 大盛況! チャリティーふれあい市



第35回チャリティーふれあい市(チャリティーふれあい市実行委員会主催)が西原町役場駐車場で開催されました。地元農家が丹精込めて育てた野菜や花が販売され、他にもできたての黒糖やJA西原支店女性部による味噌・万能たれ、西原町生活研究会のシマナーサータアングギー、モロヘイヤそば、中部地区和牛改良組合西原支部による牛ふんなど、ここでしか買えない商品が販売され大盛況となりました。本イベントの収益の一部は西原町社会福祉協議会の活動に寄付されます。

3月7日 ハワイ沖縄連合会次期会長にニシハランチュ



ハワイ沖縄連合会会長伊芸ジョセリン氏と次期会長に就任する宮平リン氏が町役場を訪れ、ハワイ沖縄プラザ建設協力の感謝と、この1年のハワイ沖縄連合会の活動を報告しました。宮平リンさんは西原町にルーツを持つ日系4世で、平成15年から18年まで町内の小学校で国際交流員として活躍していました。西原町は県内でも有数の移民母町であり、その移民先の割合をみるとハワイが最も多くおよそ46%を占めます。来年は沖縄県人ハワイ移住120周年を迎えます。



文化財コラム

平成三十年度 町内遺跡発掘調査速報

昨年十一月末頃、本町の字安室地内で、工事中に地中から古墓が一基発見されました。

発見された古墓の周辺一帯には多くの古墓が所在していることから、遺跡名はその地域の名称をつけて、安室後ノ川原古墳群としました。

西原町教育委員会は、今年の二月末から三月にかけて発掘調査を行いました。

この古墳は、砂岩(二一七)層の斜面地に横穴を掘って造られた掘込墓ですが、墓の天井全体が崩落(欠損)していたことから、墓全体の形をうかがうことはできませんでした(写真①)。

しかし、残存状況から墓室内は掘り込みによって十字状の空間(奥壁側は柵状)が設けられていることが分かりました(写真②)。

また、墓口を閉じるような形でサンゴ石灰岩(※1)の切石が三段積まれている状況も確認されました。

ちなみに、墓の中からは遺骨や厨子甕(※2)が確認されなかったことから、別の墓に移された可能性が考えられます。

これ以外に、墓の外に納骨された厨子甕が確認されたこと(写真③)や、地域の方たちの情報から、戦時中に避難壕として利用するために遺骨などが一日墓の外に持ち出されて、戻される機会がないまま埋もれてしまったのかもしれないと推測されています。

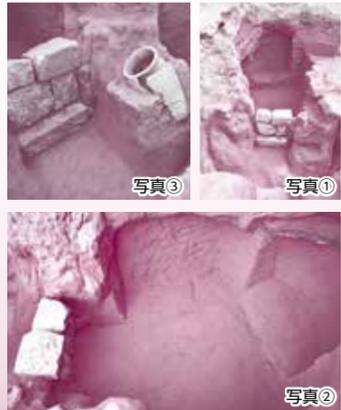
墓が利用されていた年代はくわしく知ることはできませんでしたが、町内でこれまでに確認されている古墳や地権者の情報などから、沖縄戦よりも前(近世・近代)に造られた墓であると推測されました。

このように、本町内の地中には、まだまだたくさんの文化財が埋もれている可能性があります。

町民のみならず、今後、墓や家などを建てる、または所有地を造成するなどの土地を掘る予定がありましたら、本町の貴重な文化財の消失を未然に防ぐために、本教育委員会へご連絡くださいますようお願いいたします。

最後に、地権者並びに周辺地域のみならず、発掘調査へのご理解、ご協力ありがとうございます。

※1 サンゴの化石を多く含んだ琉球石灰岩
※2 洗骨(せんこつ)に用いた土製の甕(かま)の遺体を一日墓に納め、一定年数かけて骨化させた後に、その遺骨を洗う儀式後の遺骨を納める容器(方言でジシシカニ)。



お問い合わせ 教育部 文化課 文化財係 ☎944-4998

3月25日 NS²BP 1年の活動を報告



西原町を元気にするために、西原町在住の高校生と琉大生で結成されたNS²BPの平成30年度活動報告会が、西原町社会福祉協議会で開催されました。全国各地での研修をはじめ、県主催の観光月間イベント、中部広域産業まつりでの地場商品のアピールなど1年間の様々な活動が報告されました。その中で、昨年4月に行われた国際交流イベント「Trip Festa」発案者の宮平琉星くん(知念高校卒)は、クラウドファンディングを利用して資金造成し、イベントを成功させた経験を踏まえて、「自分の思いを実現するためには、どう周囲に思いを伝えるかがとても大事」と語りました。上間町長は「将来のまちづくりを担う若者たちに大いに期待しています」と激励しました。



3月15日 減塩でヘルシーに!



働き盛りを対象とした食育教室(西原町食生活改善推進員協議会主催)が西原町中央公民館で開催され、減塩スキルアップ献立をテーマに、桜エビと青じその混ぜご飯、豚肉と長芋の西京炒め、たことキャベツのマリネを作りました。

桜エビなどの乾物やレモンなどのかんきつ類を用いると、減塩でもおいしく作ることができます。高血圧、心臓病、腎臓病予防に今日から少しだけ減塩を意識してみませんか?

桜エビと青じその混ぜご飯(4人分)

温かい白飯	600g	①甘酢しょうがは汁気を絞り、粗く刻む。青じそも粗く刻む。
桜エビ	20g	②ポウルに温かいご飯と桜エビ、①を入れ混ぜる。
青じそ	8枚	
甘酢しょうが	30g	

